

大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	37	大学等名	福岡医療短期大学
テーマ	テーマ I・II 複合型		

【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

【コメント】

<優れている点>

- ・アクティブ・ラーニングの取組と、学修成果の可視化の組み合わせにより、大学全体の改革を推進している様子がうかがえる。3つのポリシーを具現化するために、いくつもPDCAサイクルを構築しており、さらに、学修成果の可視化を通じて教育評価を行うに留まらず、そのエビデンスに基づいたアクションを意識していることは評価できる。
- ・産業界 GP 等で培ったノウハウをうまく活用して取組を進めており、また、外部有識者や卒業生アドバイザーの視点も取り入れて教育改革を行っていることは評価できる。
- ・他の短期大学との合同セミナーを実施し、事業成果の共有を行っていることは評価できる。

<改善を要する点>

- ・PDCAサイクルの構築は認められるが、外部評価について具体的な説明がない。また、課題等の洗い出しは進められてきているが、その課題解決の方策等の提示・報告がなされていない。アセスメントからアクションを導き出したとは言えず、他大学・短期大学のモデルとなるためには、更なる連動が必要である。
- ・事業成果の普及の手法として学术论文の執筆をあげているが、フォローアップでも指摘されたとおり、本事業の主目的は学术论文の数を増やすことではない。個人の研究活動と本事業の成果が混同されて発信されている懸念がある。AP 選定校としてより広く大学関係者に成果報告ができる場を設ける必要がある。
- ・多くの改革の取組がなされているが、それらを内部質保証や教育のグランドデザインの中に位置付ける視点が必要である。特に、学修成果の可視化がチェック機能として有効に働き、その結果を受けてアクションを行うシステム化が必要である。